

第2回 市長まちかどトーク

日 時 令和4年9月7日（水）

10:00 ～ 11:30

場 所 就労継続支援B型事業所 大和

参加者 就労継続支援B型事業所 大和

利用者・スタッフの皆様 4名

テーマ:行橋市における障がい福祉事業について



市長まちかどトーク第2回目は、「就労継続支援B型事業所 大和」の利用者・スタッフの皆様との90分間の意見交換でした。まず参加された皆様からのご意見を頂き、その後市長がお話しました。

内容を抜粋して掲載しております。

<大和の皆様のご意見>

1. 就労継続支援B型の工賃がとても低い
2. 障がい者の移動手段をもっとPRしてもらいたい。(対象者・利用金額・どこまでの範囲利用できるか等)
3. 歩道のないところが多く危険。公共施設でも手すり等が完備されていないところがあり、利用するのに不安がある。
4. 教育の充実。(障がい者や高齢者と小中学生がもっとふれあう機会があると、お互いの理解が深まると思う)
5. 娯楽施設が市内にもっと増えると活性化する。
6. コロナで中止となっている「こすもっぺ」が早く復活できないか。

<市長のコメント>

- ・まず冒頭に「市長まちかどトーク」は行橋の未来について語る場なので、単なる要望の場ではないということをご理解いただきたい。その上で皆様のご期待に添いたいと思っているが、予算の配分等、すぐにできること、時間がかかること又できないことがあることも併せてご理解いただきたい。
- ・移動手段のPRについては、よりわかりやすくPRすることを心掛けたい。
- ・道路の整備については、通学路を中心に整備している。整備には、用地を取得し、工事をするのに数年を要することから、全ての要望に対応するにはかなり時間を要している。
- ・教育の充実についてはその通りだと思う。一昔前に比べて障がい者やLGBT等の方たちに対して子供たちの理解は進んでいると考える。ただコミュニケーションの機会については充分ではないと考える。
- ・娯楽施設の進出については今後可能性はあると考える。市の発展のために企業誘致等努力していきたい。

- ・困りごとには本当は全部に応えたいという思いはある。しかしながら政策の優先順位等がある。諦めずに言い続けてほしい。行政だけではなく、民間等のアイデアも活用し、一緒にまちづくりを進めていきたい。